

MRIを用いた脳画像統計解析の有用性

川口市立医療センター 放射線科 **しずく いし たかし 栗石 崇**



脳の形態は個人差が大きいので、多系統萎縮症や進行性核上性麻痺といった、特徴的な脳領域の萎縮を呈する神経変性疾患を除いて、視覚的に評価することが難しく、多くの精神神経疾患で施行される脳MRI検査は、脳梗塞や脳腫瘍など、治療可能な諸原因を特定、または除外することが中心となっています。近年では、MRIの構造画像データを用いて、脳形態をコンピュータで自動的に解析する方法が利用され、視覚的には正常な脳画像でも、画像解析上、診断可能な場合があります。例えば、認知機能障害をきたすアルツハイマー病は、海馬の萎縮を呈する疾患ですが、症状を視覚的に検出することが難しい場合があります。また視覚的評価は診断医の主観や経験に左右されることがあります。実際の臨床の現場においてもアルツハイマー病の検査を中心に、Voxel-based morphometry (VBM) と呼ばれる自動解析法を用いて、特定領域の脳萎縮を評価することがあります。VBMの有用性は、研究段階ではアルツハイマー病のみならず、多くの精神神経疾患で報告され、今後、早期診断や治療効果判定などへの寄与が期待されます。また、最近では脳の容積のみならず、特定の脳皮質の厚さや脳溝の形態など、より詳細な脳形態の定量評価が可能になってきています。将来もしかしたら、「あなたの現時点での海馬の容積、厚さはそれぞれいくつで、同年齢の平均より何%減少し、アルツハイマー病のリスクが何%程度あります」といった評価が可能となる時代が到来するかもしれません。

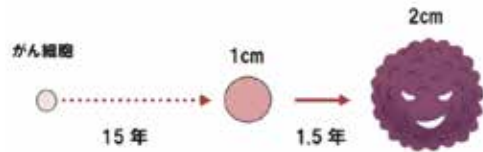
がんは身近な病気、早期発見には定期的ながん検診が必要です。

日本はがん大国といわれ、2人に1人はがんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。しかし、早期に発見し適切な治療を受ければ、完治も可能な時代となりました。

初期のがんは、症状がほとんどないまま進行することが多いため、早期に発見するには、症状がなくても定期的ながん検診を受けることが重要です。

定期的な受診が必要なわけは？

例えば、乳がんの場合、1つの細胞が1cmのがんになるには15年ほどかかります。ところが、1cmのがんが2cmになるのに必要な期間は、わずか1.5年といわれています。去年の検診で発見されなかったがんが、今年発見される可能性は大いにあります。検診を1～2年ごとに受けなければならないのは、このためです。



命を守る大切な検診です。市の各種がん検診や、職場の検診を利用して、ぜひ受診しましょう。

市のがん検診は、平成31年2月まで実施しています。詳細は、地域保健センターにお問い合わせください。

問い合わせ・・・地域保健センター

☎048-256-2022 FAX048-256-2023



イベントスケジュール

9月
22日(土)・23日(祝)
中核市移行記念大会 第11回川口ツーデーマーチ
場 戸塚中台公園

→8ページ
30日(日)
第21回川口健康フェスティバル
場 リリア・音楽ホールほか

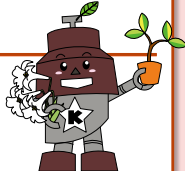
10月
6日(土)～8日(祝) →6ページ
川口グリーンフェスティバル2018
場 グリーンセンター

→6ページ
8日(祝)
七つの祝い
場 グリーンセンター

14日(日)
第17回ボランティア見本市
場 キュボ・ラ広場

21日(日)
荒川ふれあいまつり2018
場 浮間ゴルフ場

→4ページ
26日(金)～28日(日)
川口市市産品フェア2018
場 SKIPシティ



最良の友をトータルケア

金業 No.1 グルーマー

たんげ 丹下 健一さん
(前上司)

毛の刈り込み(トリミング)だけでなく、ブラッシングから爪切り、毛抜きなど犬の手入れを幅広く行うグルーマー。「海外ではトリマーだと通じません。私は犬に対してできることは全てやってあげたい。だからグルーマーなんです」と笑顔で語る。

子どものころから犬の動物好き。ドッグショーで綺麗に整えられている犬たちを見て感銘を受け、グルーマーを目指すように。念願かない、21歳から活動を開始した。「当時は腕一本で食べている仕事ではなく、ペットの総合商社に勤めながら技術を磨く日々でした」と振り返る。

そんな中、アメリカのイベント「SuperZoo」で行われる毛の刈り込み(トリミング)グコンテストを知った。「自分の原点を思い出し、挑戦してみたいと思ったんです」。

2010年に足掛かりとして出場した国内の競技会で受賞し、独立を決意。市内で犬関係のイベント企画を行いながら修練を積み、2011年から「SuperZoo」のコンテストに連続出場。4回目の2014年に優勝を果たした。「技術はもちろんですが、モデル犬と良い関係を築き、魅力は最大限に引き出した結果です」。

同年、市内にグルーミング専門店をオープン。顧客は関東一円に400人を超える。「新人当時はまだ子どもだったお客様が結婚して、新しく



家族に迎えた愛犬の相談をいただいたんです。何ものにも代えがたい喜びでした」。

現在は店舗経営以外にもコンテストや子どもを対象にした体験イベントを開催し、グルーミングの普及に携わるほか、保健所に収容された保護犬のグルーミングを無償で行い、里親ボランティアとの仲介をするなど精力的に活動の場を広げている。

「言葉を話せない犬のケアには、彼らの気持ちをしっかりと考えてあげることが大事なんです」。施術中に時折見せる優しい表情は、その信条を雄弁に語っていた。(洋)